

第 25 回 筋ジストロフィー研修会 修了テスト

第 25 回筋ジストロフィー研修会を閲覧していただきありがとうございます。

閲覧後、修了テストとアンケートにお答えいただいた方に、「第 25 回筋ジストロフィー研修会修了証」をお送りいたします。恐れ入りますが、メールもしくは郵送にて問い合わせ担当者までお送り下さい。

* 修了テストは○×形式でお答え下さい

◎医師①

1. デュシェンヌ型筋ジストロフィーの患者ではジストロフィン遺伝子のエクソンの欠失変異が最も多い。
()
2. デュシェンヌ型筋ジストロフィーの患者のエクソンスキッピング治療は out-of-frame 変異を in-frame 変異に変えるものである。
()

◎医師②

1. 筋ジストロフィーには Remudy という患者登録システムがある。
()
2. 筋ジストロフィーの患者・ご家族は、多専門職種チームではなく主治医一人で支援を行っている。
()

◎看護部

1. 不安の訴えを聞く際、相手と向き合って傾聴する。
()
2. 患者の想いを汲み取り、多職種と情報を共有し連携することが大切である。
()

◎栄養管理室

1. 筋ジストロフィー患者の栄養管理の基本は、Alb などの生化学検査の評価、体重減少など体重変化の評価、体格評価を基に食事摂取量が適正であるかどうかを定期的に評価する。
()
2. 筋ジストロフィー患者は、病状の進行とともに摂食嚥下機能が低下していくため、定期的な嚥下評価で適した食形態を検討していくことが必要である。
()

◎リハビリテーション科

1. 筋ジストロフィー患者の呼吸不全の特徴は、呼吸筋力の低下により肺や胸郭が広がりにくく、また痰を出しにくくなり肺が低換気状態となりやすい。
()
2. 呼吸リハビリテーションの目的は肺や胸郭の動きの維持や、低下したせきの力を補助して痰を出す能力を維持することである。
()

◎療育指導室

1. 療育指導室・保育士としての活動支援は、「患者が 1 人の人間としてどう生きていくか」という生涯発達の視点に立った支援を行う事を狙うとしている。
()
2. 加藤様は新型コロナウイルス感染症対策の為、パートナーとの練習や病院外での演奏が実施できなくなった為、病院内で外部に向けた活動は何かできないかと考え Youtube チャンネルを作成した。
()

第 25 回筋ジストロフィー研修会 アンケート

この度は、当研修会にご参加いただき、ありがとうございました。今後の参考にさせていただきたいと考えておりますので、お手数ですが、アンケートにご協力をお願いいたします。

いずれかに○をつけてください

I. 研修受講者の区分

1 新潟病院職員	①看護師 ④その他 ()	②リハビリ	③介助員
2 新潟病院職員以外	①教員 ④栄養士 ⑦入院児 (者) 家族	②看護師 ⑤支援員	③介護士 ⑥在宅児 (者) 家族 ⑧その他 ()

II. 研修内容

①研修時間について

1 ちょうどよい	2 長すぎる	3 短すぎる
----------	--------	--------

理由 _____

②研修内容について

1 満足	2 普通	3 不満
------	------	------

理由 _____

III. 今後、当研修会においてどのようなテーマを希望されますか

IV. その他お気づきになった点がございましたらご記入ください

ご協力ありがとうございました